

全塾生・保護者の皆様へのお願い
ー開倫塾自習室活用についてー

開倫塾
塾長 林 明夫

1. 開倫塾の全体の責任者である、塾長の林 明夫でございます。

次の文章は、新年に配付される「開倫塾ニュース」のために、私が書いた「原稿」ですが、一日も早く塾生の皆様にお読み頂き、よく「納得」して頂いた上で、受験勉強に励んで頂きたいと思い、「開倫塾ニュース」発行前ではありますが、このような形でお届けするものであります。

2. 冬休みまでは、残すところ1週間程です。この期間は、学校が早く終わる日も多く、夕食前の受験勉強には絶好のチャンスです。「2時間半」以上、日によっては「4～5時間」も夕食前に勉強できる日もありますので、ぜひ長時間学習を夕食前に「実行」してみてください。

自分一人ではできないようであれば、開倫塾の自習室で勉強することを強くお勧めいたします。開倫塾の校長先生、担当の先生と十分な話し合いを持って、十分納得の上で「1週間分の学習計画」を立て、歯を食いしばってコツコツと実行してください。

3. 受験勉強に、頭の良い悪いは関係ありません。勉強をしたかしないか、ただそれだけです。そうは言っても、ピントはずれの勉強方法をとると、いくら時間をかけても効果は上がりませんので、少しでも不安のある方は、ぜひ開倫塾の校長先生や担当の先生に遠慮なく御相談くださいますようお願い申し上げます。

4. 「冬期講習」「正月特訓」中も、開倫塾の先生方が校舎に勤務している時間中は、自習室を御活用ください。(ただし、どんなことがあっても、夜10時30分以降に塾生が校舎に居残ることは防犯上「絶対禁止」ですので、退室時間だけはお守りください。)

5. 「正月特訓」は、最も気持ちがたるみがちな年末から正月にかけて、1日1教科を8時間かけて5日間集中学習するもので、極めて学習効果が高いものです。全国に数ある学習塾の中でも、ここまで真剣にやっている学習塾は極めてまれであると高い評価をうけているものであります。

正月特訓は必修ですので、土曜ゼミナール(土ゼミ)のみを受講している塾生も含め、

全塾生は必ずこの特訓を5日間全日受講してください。

6. 1月からは、「土曜ゼミナール」の他に「日曜ゼミナール(日ゼミ)」もスタートします。3月には「直前特訓」も生まれ、受験生はほぼ毎日開倫塾で指導を受けられる体制が、熱心な先生方の御理解と御協力のお陰で、本年度完成しました。

受験生の皆様には、希望校合格に向けて、自習室の活用も含め、開倫塾の最大活用をぜひお願いいたします。

7. 学業特待や推薦入試等で合格が決まった塾生も、県立高校を受験する塾生とともに、3月の直前特訓まで全員が学習してください。合格したからといって学習を停止してしまうと、県立高校受験生との学力差が発生してしまい、高校入学後にこの学力差がさらに拡大、せっかく入学した高校での成績に大きく影響するからです。

現在の中学3年生の開倫塾卒塾生は、全員が高校1年終了時とさせて頂き、3月の直前特訓終了後に、高校1年生の授業の予習を全校舎で実施します。

高校1年生の英語と数学、特に数学Ⅰはどんどん先へ進む高校が多いので、学校外での学習、とりわけ予習と復習は不可欠です。高校入試直後から、入学式、ゴールデンウィークが終わる頃までの期間の学習が、高校生としての予習には欠かせません。

中学3年生の塾生の皆様は全員、現在通われている校舎の「高1総合コース(英語、数学)」、あるいは KAIRIN 予備校の「高1選抜コース(英語、数学)」のどちらかを選択し、高1終了時まで開倫塾で勉強してください。(塾生の学力向上のため、開倫塾の卒塾生は高校1年生終了時ですので、十分御理解くださいますようお願い申し上げます。)

「総合コース」、「選抜コース」のどちらを選択するかは、校長先生や担当の先生と十分お話し合ってください。

推薦入試を果たしたからといって浮かれることなく、県立高校一般入試の受験生と同じだけの勉強量を確保することが大切です。2月、3月のすべてのカリキュラムに積極的に参加し、揺るぎない学力を身に付けて余裕を持って進学してください。

8. 大学・短大・専門学校への進学率が高卒者の74%を超える今日の最大の関門は、大学入試です。にもかかわらず、高校生の学校外学習時間が2時間以上は2割にすぎず、8割が1時間半以内(5割は学校以外では全く勉強しない)というのが現状です。

高校入試までは真剣に勉強しても高校に入るとさっぱり勉強しないのでは、大学進学を考えることはできません。そこで、開倫塾では従来の KAIRIN 予備校の「選抜クラス」に加え、2005年度より、全校舎で「高1総合コース」を開設し、高校生の学力低下を少しでも食い止めようと努めております。

9. 受験生以外の塾生、受験学年以外のお子様をお持ちの保護者の皆様に、一言申し上げます。

(1) 「開倫塾ニュース」巻頭言にも書かせて頂きましたが、受験学年以外の塾生の皆様の中で、家では十分に勉強できないという方は、「自己学習能力」が身に付くまで、「おしゃべり等は絶対禁止」と「夜 10 時 30 分以降は必ず帰宅」のルールを厳守した上で、開倫塾の「自習室」を御活用ください。

(2) 現代の教育の最大の課題は、大学・短大・専門学校などの「高等教育機関」に 74 %以上が進学するにもかかわらず、学校外での学習時間が 2 時間以上という高校生が 2 割しかいないという「高校生の学校以外での学習時間の少なさ」、つまり「高校生の低学力」であると、私は確信いたします。高校での未履修問題がなぜ発生しているかといえば、学校外でほとんど勉強しない生徒が 50 %も存在する中で大学入試を受けさせなければならないので、せめて受験科目だけでも学校での勉強時間を増やそうという高校側の考えのためであると、私は推察いたします。

(3) 高校入試までは開倫塾であんなに勉強したのに、高校に入学して開倫塾に行かなくなったら勉強しなくなったという状況をどうしたら改善できるかを、私は真剣に考え、開倫塾の先生方の御理解と御協力を頂いて、2005 年 4 月からスタートしたのが、「高 1 総合コース」です。

このように、家庭であまりにも勉強しなくなった高校生の学力不足問題の解決のために考え抜いて、高校 1 年生のコースをスタートした学習塾は全国でも非常に珍しいと言われていています。

開倫塾の全校舎で、高校 1 年終了時を開倫塾の「卒塾」とさせて頂いた理由を、十分御理解頂ければ幸いです。

(4) 開倫塾の社会的使命(mission、ミッション)は、高校卒業後に大学・短大・専門学校などの「高等教育機関」に進学する塾生に、大学等での教育・研究に耐えられる基礎学力と自己学習能力を育成することで、「塾生の成功の実現に貢献する」ことにあります。

「一所懸命」に全力を傾け、使命達成に向けて努力させて頂きますので、高校 1 年終了時まで一人残らず全員が開倫塾で勉強してくださいますようお願い申し上げます。

以上